

小単元名：平行と合同

星形五角形の角の大きさを求める

(全 10 時間扱い中 第 7 時)

授業日時 令和 3 年 10 月 26 日 (火) 第 3 校時

授業学級 2 年 E 組

授業会場 2 年 E 組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

星形五角形の角の大きさが 180° であることを、平行線や補助線を用いて考察することを通して、既習の図形の性質を使えることに気づき、説明することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：星形五角形で、印をつけた 5 つの角の和はいつでも 180° になるのかを考える。
- ・活動：星形五角形の 5 つの角の和が 180° になることを説明する。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 提示問題を把握する	◇提示問題を TV に写し、星形五角形の 5 つの角の和が 180° になりそうという事を確認する。 ○「星形五角形の形を変えても同じことが言えそうかな。」	10
		【学習問題】 星形五角形で、5 つの角の和はいつでも 180° になるだろうか。	
	2. 問題を解決するための見通しを立てる。	○「どうすればいつでも 180° であることを確かめることができるでしょうか」 ◇これまでの図形の性質を用いて説明すればよいといった意見がでたら、学習課題を据える。	
		【学習課題】 星形五角形の 5 つの角の和が 180° になる理由を説明してみよう。	
展開	3. 個人で課題を追求し、考えをまとめる。	○「今まで学習した図形の性質を使って考えてみよう。」 ◇つまづいている生徒には、補助線や平行線を引いて既習事項と結びつけるように促す。	10
	4. グループで自分の考えを発表し考えを共有する	○「自分の考えをグループで発表して、よいと思った意見を共有しましょう。」 ◇グループ内で自分の考えを説明し、違った説明の仕方がある事を生徒間で共有する。 ◇やり方をいくつか取り上げるために、何人かに黒板に書いてもらう。	15
	5. 全体で意見を発表し、考え方を確かめる。	○「どのように説明できましたか。」 ◇生徒に説明してもらいながら、どの図形の性質を用いたのかを全体で確認する。 【評価】 星形五角形の 5 つの角の和が 180° になることを説明している。(ワークシート、観察)	10
終末	5. 本時の学習を振り返る	○「今日の学習の振り返りとして、星形五角形の説明の時に大事だと思ったポイントをまとめましょう。」 ◇時間があれば数人に発表してもらう	5